

# いわき吹奏楽アカデミー

吹奏楽の魅力は、低音から高音までの幅広い音域の管楽器が重なり生まれるハーモニーです。しかし、少子化による部員数の減少などにより、大勢の仲間と音色を奏でる機会は少なくなりつつあります。

音楽が好き。楽器が好き。演奏が好き。

こうした子どもたちの活動機会を生み出す「場所」があります。

令和5年度に開講した「いわき吹奏楽アカデミー」。県吹奏楽連盟、同いわき支部、いわき芸術文化交流館アリオスが協働し、主に小・中学生を対象に、楽器演奏の機会確保と音楽活動の楽しさに触れ合うための活動に取り組んでいます。

活動のきっかけは、部活動の地域展開や教職員の働き方改革に加え、部活動の減少が挙げられます。県内小・中学校の吹奏楽部数は10年で約2割減少。生の音楽に身近に触れる環境の確保が課題となっています。3期目となる本年度、市内18校88人の児童生徒が、2月に行われる合同演奏会を目指し、昨年8月から練習を重ねてきました。

市内の吹奏楽団員による楽器別の指導や他校の生徒との交流、そして学校では経験できない大規模の合奏は、技術面・表現面ともに子どもたちの感性を磨いていきます。大人数での合奏の醍醐味は、壮大な音楽を奏でる高揚感、仲間と一つの音を目指す一体感です。迎えた演奏会当日。一人一人の音楽へのあふれる思いが音符に乗り、瑞々しい音がホールに響き渡っていました。

## 他校生徒との交流が楽しい

江名中 3年 松本 蓮未さん

私は普段、部活動でアルトサックスを演奏しています。より良い音が出せるようになるため、吹奏楽アカデミーに参加しました。大人の方や他校の生徒の音を聞いて、自分自身の刺激になると思い、中学2年生から参加しています。

実際に参加してみて、同じ楽器を演奏する仲間や他校の生徒たちとの交流がとても楽しいです。春には高校生になりますが、これからも吹奏楽を続けたいです。



響き合うハーモニー、奏でる青春の音色

